

# シティプロモーションを継続的に推進する仕組みについて (伊賀市まちづくりラウンドテーブル及びシティプロモーション会議)

## シティプロモーションとIGABITO育成について

### 伊賀市のシティプロモーションとは

『誇れる伊賀市』『選ばれる伊賀市』をテーマに、「まち全体のブランド化」「IGABITO(伊賀びと)育成」「情報発信」を市民が主体的に推進するもの。

### 目指す姿

定住人口及び交流人口の増加を実現し地域経済の活性化を目指す。また、シティプロモーションによって『誇れる伊賀市』『選ばれる伊賀市』の実現を目指す。

### IGAMONO(伊賀者)とは

自らが地域の担い手となり、より良い“伊賀”を創る意識、実行力を持った若者。

### 目指す姿

地域の担い手である若者たちが、伊賀市に住み、住み続けることで、持続可能なまちづくりを市民が主体的に推進する。

IGABITO(伊賀びと)育成を含む、  
シティプロモーションを継続的に推進する仕組みの構築が必要

### 伊賀市まちづくりラウンドテーブルの目的

“誇れる伊賀市”、“選ばれる伊賀市”、“住みたい伊賀”を実現するために市民及び伊賀出身者が主体となって必要な取り組みを検討する

#### ポイント

市民  
生の声

伊賀  
出身者

若者の  
コミュニティ

- 市民の声や考えを集める。
- 市外在住の伊賀出身の参加者も募集。若者同士の世代毎のコミュニティを形成することで結束力の強化、Uターンを促進する。

### シティプロモーション会議の目的

ラウンドテーブルで出てきたアイデアの実現に向け、実施主体を明確にしたうえで、ヒト・モノ・カネを手当てる

#### ポイント

実施主体  
決定

具体化

- 次年度以降に実施すべき事業を検討し、担当原課と実施主体とのマッチングを行い、実施すべき事業の実施主体を明確にする。

# 「観光」と「雇用」の視点から、“誇れる伊賀市”、“選ばれる伊賀市”、“住み続けたい伊賀”の実現に向けて、やるべきことを市民(出身者含む)が検討します

## 伊賀市まちづくりラウンドテーブル及びシティプロモーション会議の内容(イメージ)

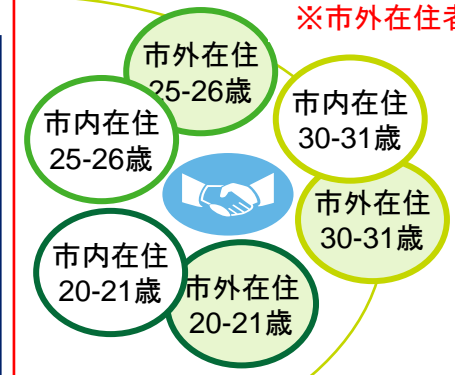
### 平成29年度「伊賀市まちづくりラウンドテーブル」(案)

- テーマ: 観光客に満足してもらうために私たちができること(仮)  
伊賀の担い手を増やすために私たちができること(仮)
- 対象: 高校生(20名程度)、大学生(10名程度)、社会人(20名程度)、外国人(10名程度)、同級生(20歳、25歳、30歳(各15名程度))
- 日時: 秋・冬の年2回

市内在住の世代・職種を超えた  
意見交換会(ワークショップ)



転職を検討するタイミングにおいて同級生(市内・市外在住)が集まる意見交換会  
※市外在住者が帰省する時期(お盆や年末年始、成人式)に実施を想定



各主体が連携・イベント化

行政 産業 教育 市民

### テーマ



誇れる伊賀市、選ばれる伊賀市の実現  
～観光の視点～



住み続けたい伊賀の実現  
～雇用の視点～

### 平成29年度「シティプロモーション会議」

- 事務局: 企画振興部総合政策課
- 参加者: 市担当課、関係団体・企業、教育機関等
- 実施内容: ラウンドテーブルにて提案された事業案と事業実施主体のマッチング

# シティプロモーションを推進していくためには、市民の声や考えを反映させる仕組み（事業実現の仕組み）が必要だと考えます

## ラウンドテーブル及びシティプロモーション会議を実現するための仕組み(1/2)

凡例：  
 ● ラウンドテーブル  
 ● シティプロモーション会議

